会津若松地方広域市町村圏整備組合公告第 14 号

令和７年７月４日付け会津若松地方広域市町村圏整備組合公告第 10 号で公告した工事番号 25 水工第７号脱水機棟耐震補強その他工事に係る制限付一般競争入札について、次のとおり訂正する。

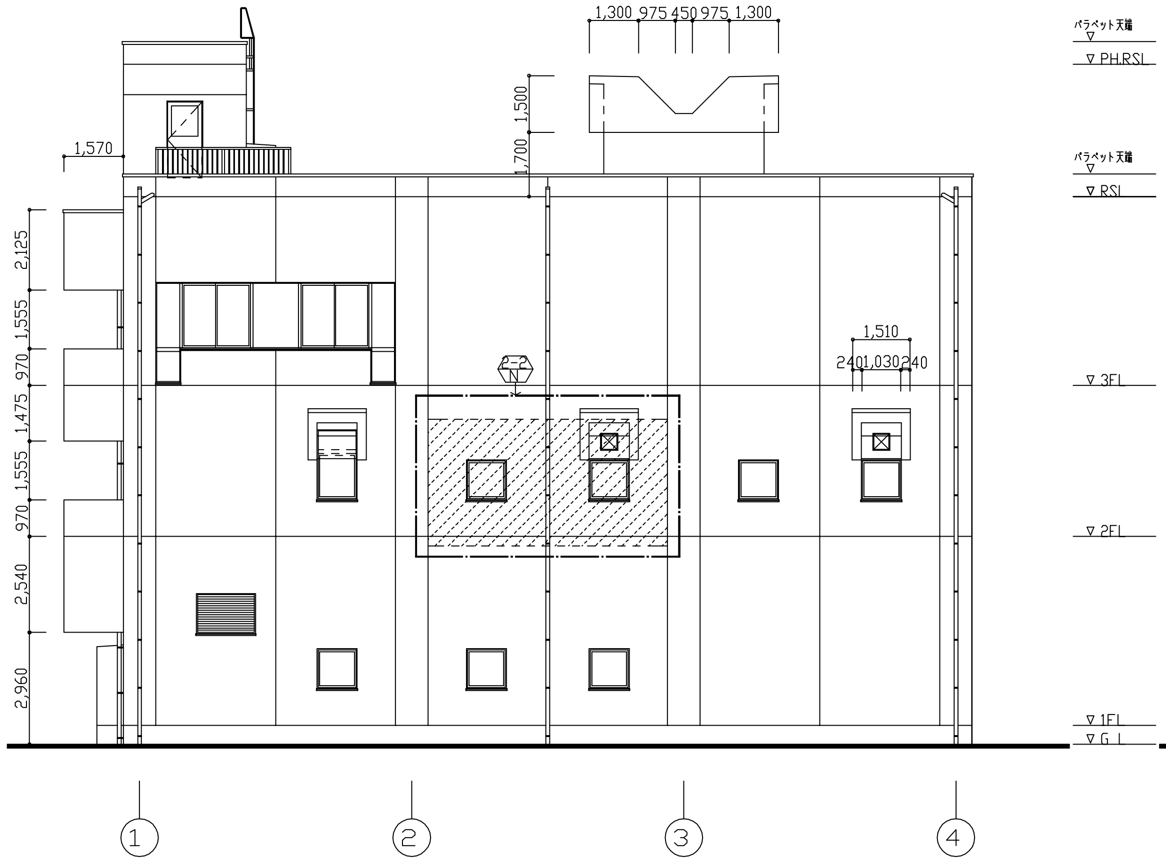
令和７年７月１８日

会津若松地方広域市町村圏整備組合管理者　室井　照平

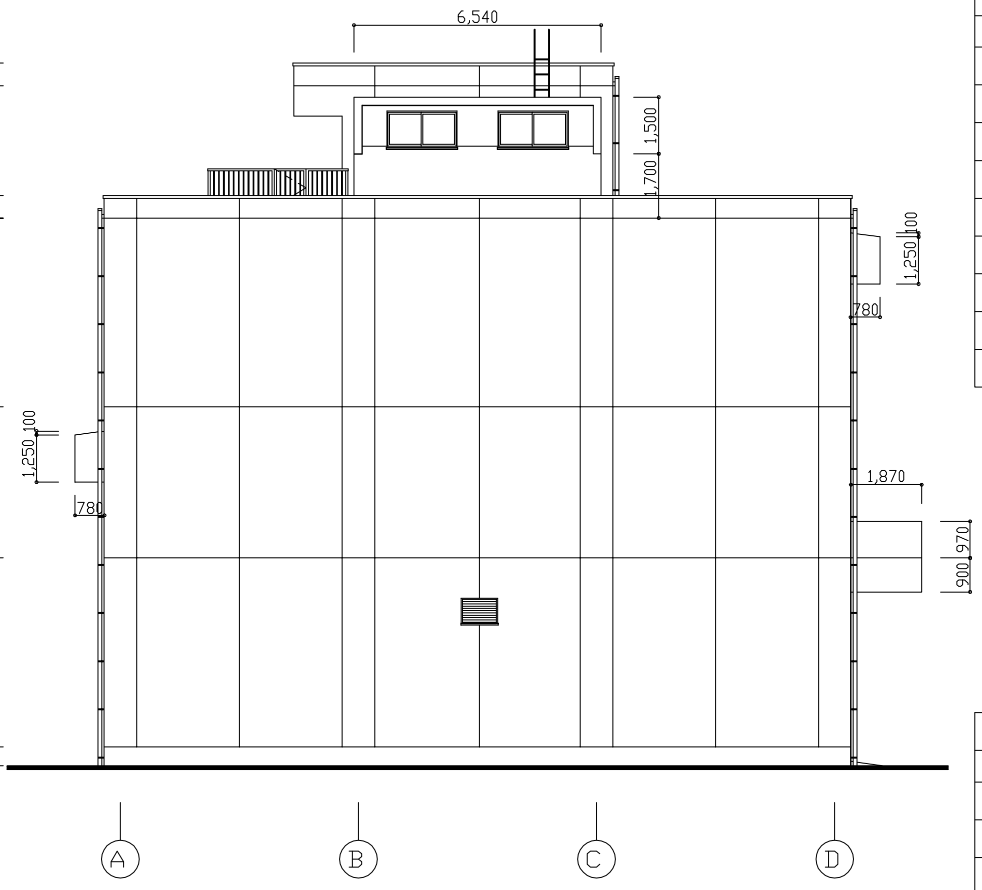
１　訂正内容

当該工事公告に付した数量調書及び工事図面を別紙のとおり訂正する。

【　改修前　】

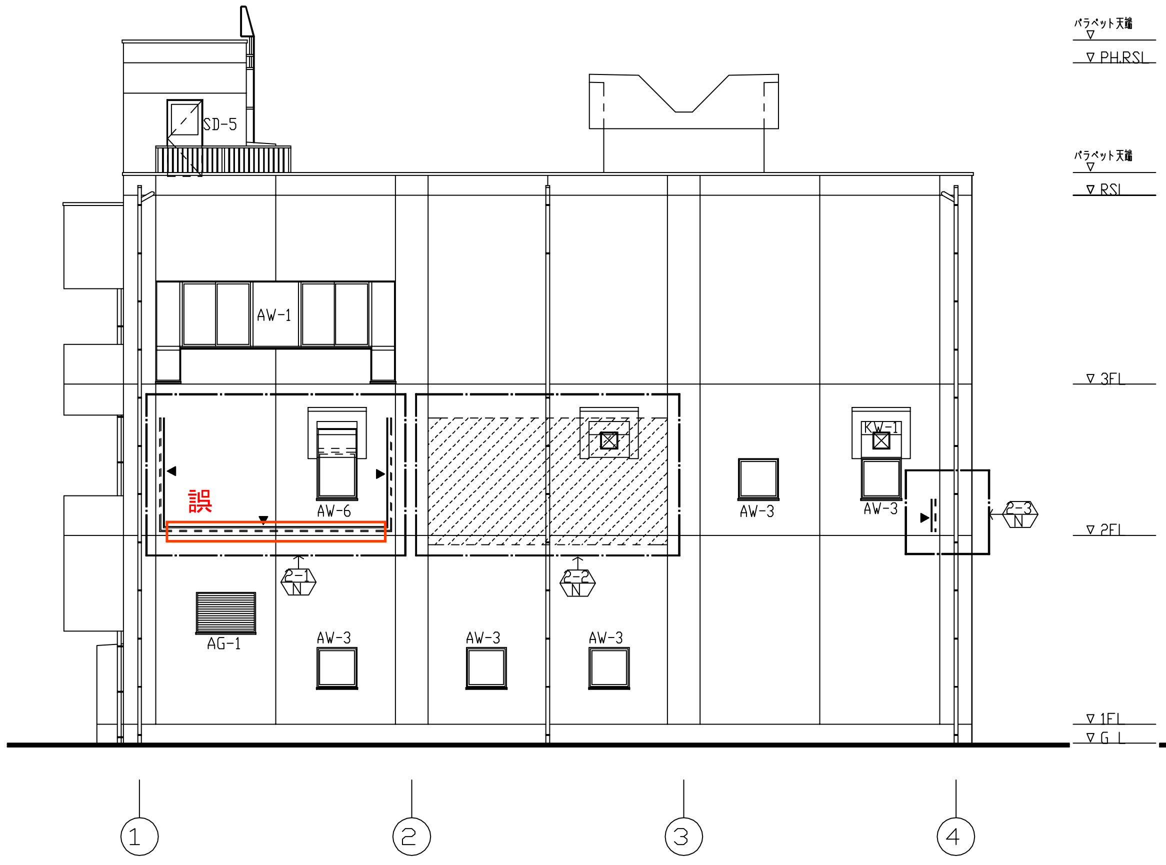


北側　立面図（改修前）　S=1/100

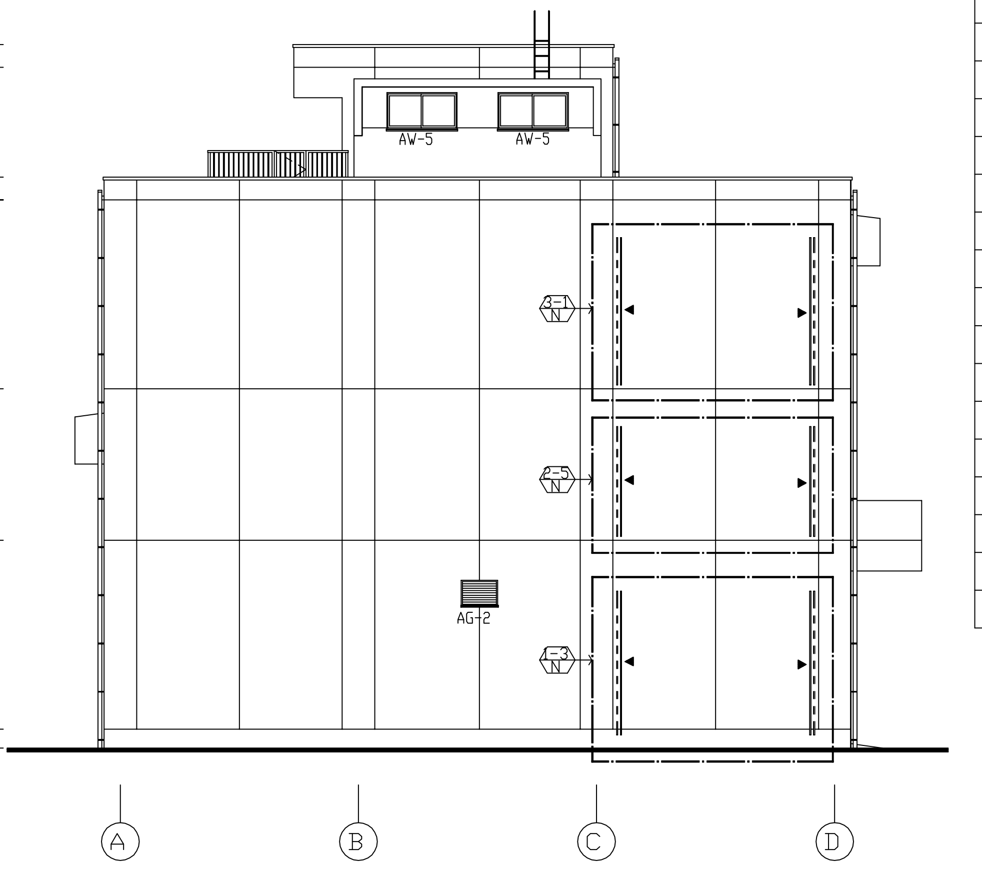


西側　立面図（改修前）　S=1/100

【　改修後　】



北側　立面図（改修後）　S=1/100



西側　立面図（改修後）　S=1/100

■　改修リスト（改修前）

記号	改修内容	備　考
1-3	－	
2-1	－	
2-2	耐震壁新設・開口閉塞に伴う外壁の撤去 及び床無筋Ｃの一部撤去	アルミサッシの撤去含む
2-3	－	
2-5	－	
3-1	－	

【凡例】

：　改修工事箇所を示す。

階数を示す。
改修部位番号を示す。
O：改修前、N：改修後を示す。

■　改修リスト（改修後）

記号	改修内容	備　考
1-3 N	構造スリットの新設（図中▼印）	
2-1 N	構造スリットの新設（図中▼印）	
2-2 N	耐震壁（t=200）の新設	床無筋Ｃの一部新設及び 外部コンクリートフードの新設含む
2-3 N	構造スリットの新設（図中▼印）	
2-5 N	構造スリットの新設（図中▼印）	
3-1 N	構造スリットの新設（図中▼印）	

■　外壁改修内容　※外部の仕上材は全て塗替えとする。

1．既存外壁仕上塗膜の除去（高圧水洗工法）

2．下地調整材の塗布

3．外壁仕上塗材の新設（複層塗材ＲＥ）

【注記】打継・化粧目地シーリング・建具周囲のシーリングは撤去・新設とする。
打継・化粧目地シーリング：10x10(PU-2)建具周囲：10x10(MS-2)

■　外部既存建具リスト

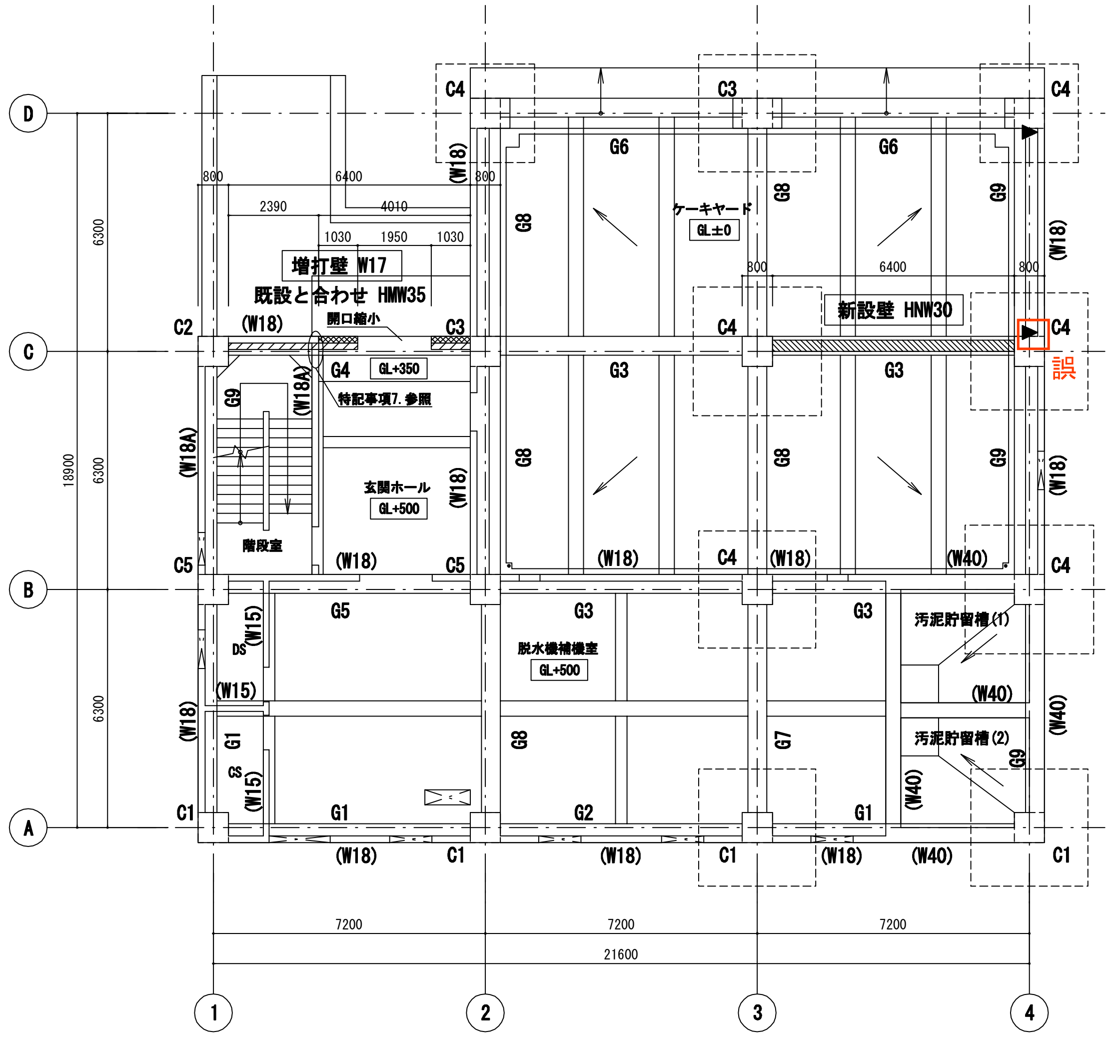
記号	W	×	H	備　考
AW-1	6,280	×	2,700	W=600+5,080+600中央部H=1,700
AW-3	1,000	×	1,000	
AW-5	1,800	×	900	
AW-6	1,800	×	1,000	
AG-1	1,500	×	1,000	
AG-2	600	×	900	
SD-5	900	×	2,000	
KW-1	400	×	400	換気扇枠：L-50x50x4

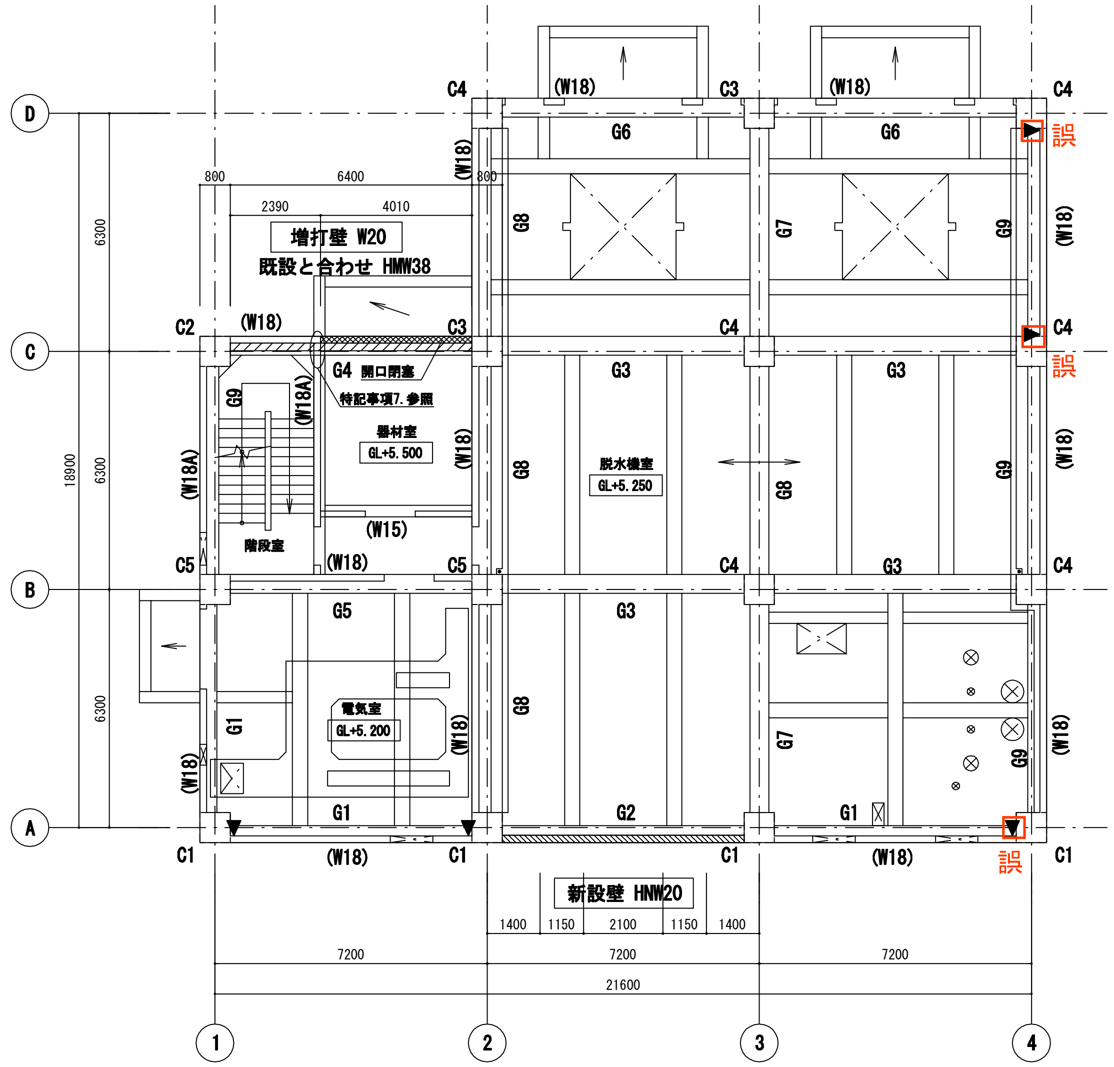
誤（当初公告）

課　長	係　長	検　算	設　計

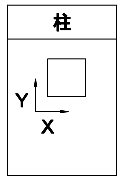
工事名	脱水機棟耐震補強その他工事		
図　名	立面図－１（改修前・改修後）		
縮　尺	S=1/100	図　番	A-15
設　計		製　図	
年　月	令和　7年　6月		
会津若松地方広域市町村圏整備組合			

脱水機棟 補強範囲伏図(1)

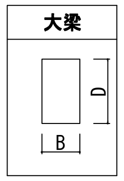


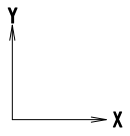


柱 凡例



大梁 凡例





既設柱リスト

階	符号	Dx × Dy
1	C2	800 × 800
	C3	800 × 800
	C4	800 × 800
2	C1	800 × 800
	C2	800 × 800
	C3	800 × 800
	C4	800 × 800

既設大梁リスト

階	符号	B × D
1	G3	500 × 1300
	G4	500 × 1300
2	G2	450 × 1000
	G4	500 × 1000

1階伏図　　S=1/100

注）特記なき限り
1. レベルは、SL(既設)を示す。
2. ( )内は、既設壁符号を示す。
3. ▼ 印は、耐震スリットを示す。
4. ▧ は、壁新設範囲を示す。
5. ▨ は、壁増打補強範囲を示す。
6. ▩ は、開口閉塞範囲を示す。
7. ⬭ は、補強壁面に直交する壁躯体撤去・復旧位置を示す。
既設鉄筋を残してコンクリートのみを撤去・復旧すること。

2階伏図　　S=1/100

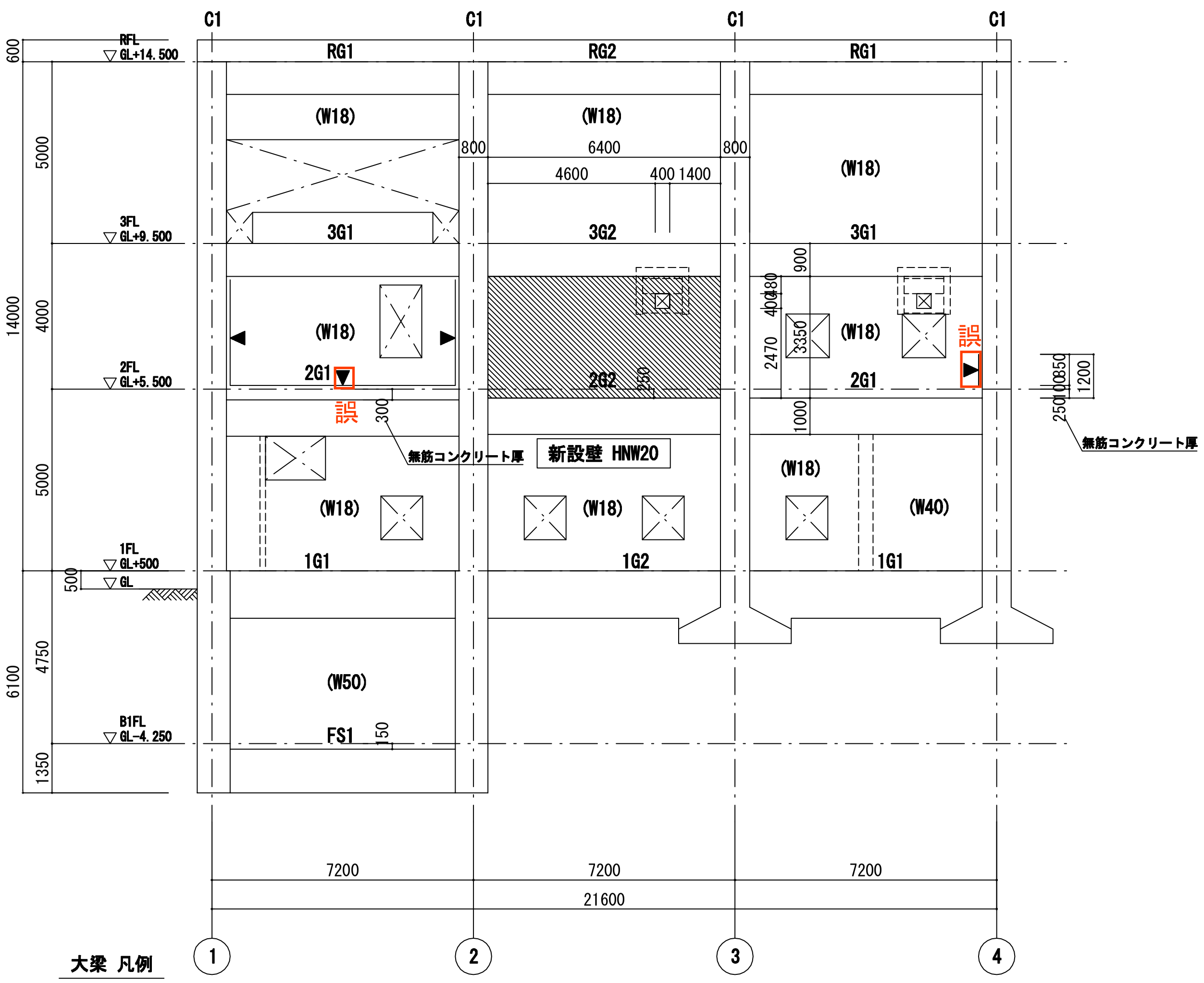
注）特記なき限り
1. レベルは、SL(既設)を示す。
2. ( )内は、既設壁符号を示す。
3. ▼ 印は、耐震スリットを示す。
4. ▧ は、壁新設範囲を示す。
5. ▨ は、壁増打補強範囲を示す。
6. ▩ は、開口閉塞範囲を示す。
7. ⬭ は、補強壁面に直交する壁躯体撤去・復旧位置を示す。
既設鉄筋を残してコンクリートのみを撤去・復旧すること。

誤（当初公告）

課　長	係　長	検　算	設　計

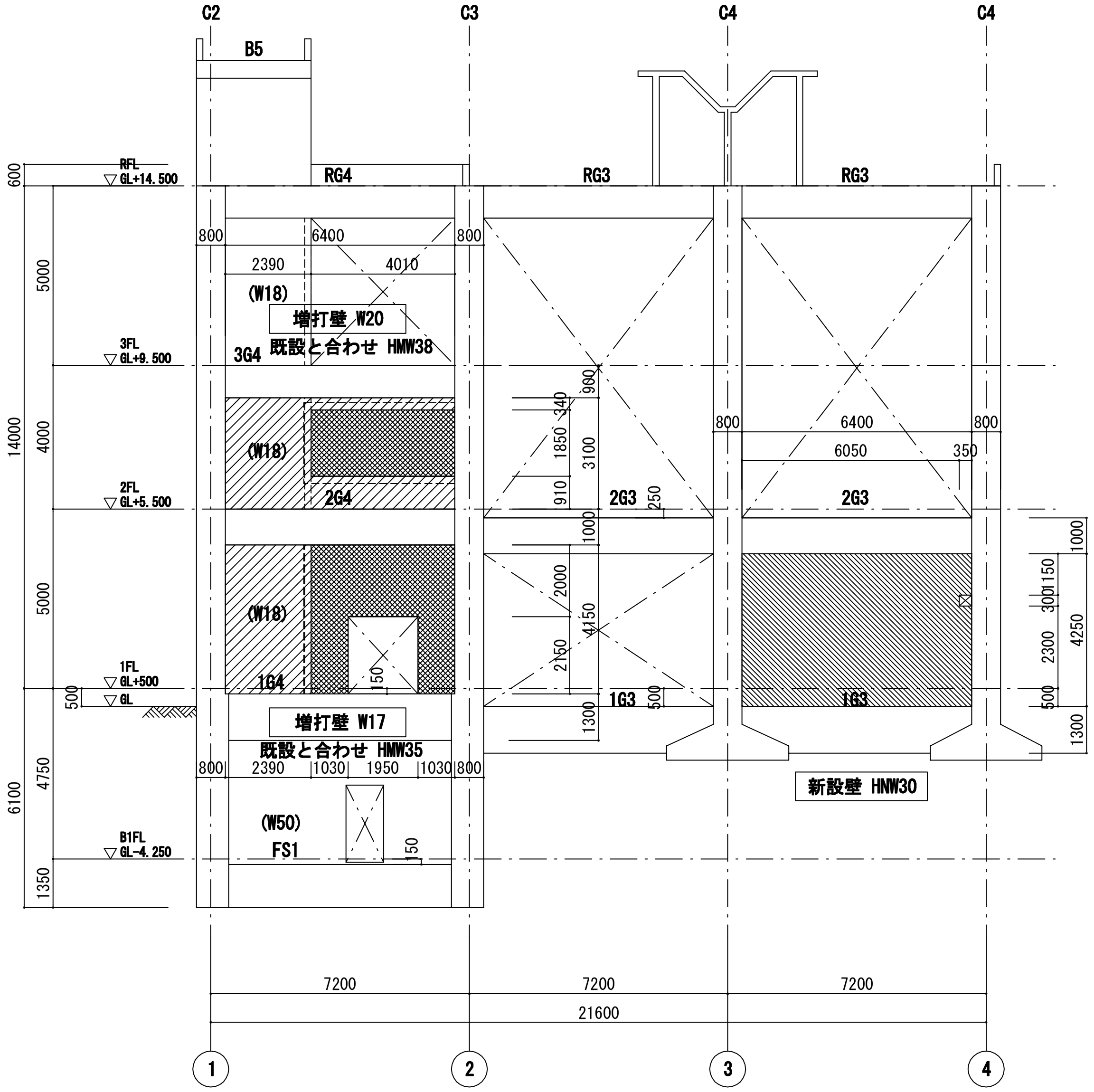
工事名	脱水機棟耐震補強その他工事		
図　名	脱水機棟 補強範囲伏図(1)		
縮　尺	S=1/100	図　番	S-7
設　計		製　図	
年　月	令和 7年 6月		
会津若松地方広域市町村圏整備組合			

脱水機棟 補強範囲軸組図(1)



A通軸組図 S=1/100

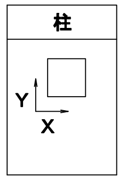
注) 特記なき限り
1. ( )内は、既設壁符号を示す。
2. ▼ 印は、耐震スリットを示す。
3. ▨ は、壁新設範囲を示す。



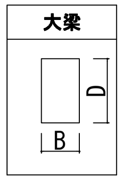
C通軸組図 S=1/100

注) 特記なき限り
1. ( )内は、既設壁符号を示す。
2. ▨ は、壁新設範囲を示す。
3. ▨ は、壁増打補強範囲を示す。
4. ▩ は、開口閉塞・壁増打補強範囲を示す。

柱 凡例



大梁 凡例



既設柱リスト

階	符号	Dx × Dy
1	C2	800 × 800
	C3	800 × 800
	C4	800 × 800
2	C1	800 × 800
	C2	800 × 800
	C3	800 × 800

既設大梁リスト

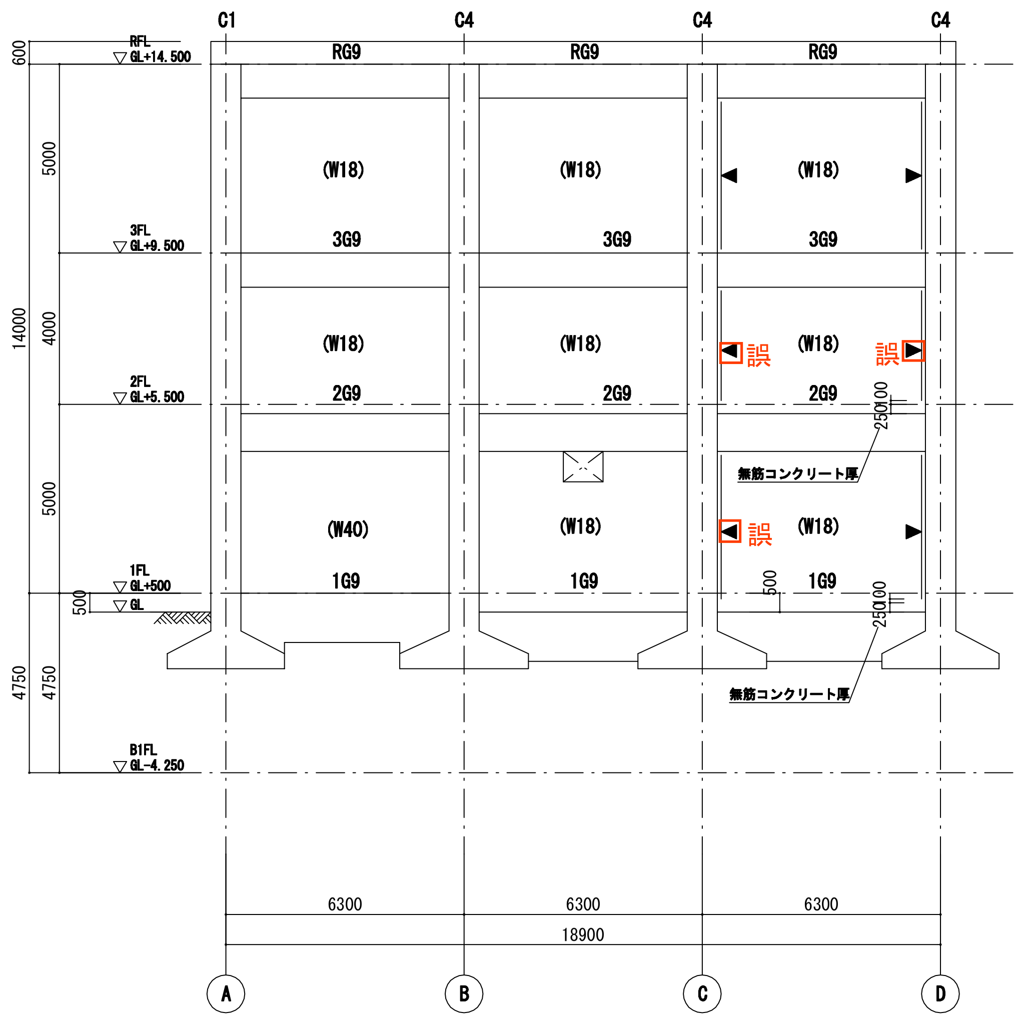
階	符号	B × D
1	G3	500 × 1300
	G4	500 × 1300
2	G1	450 × 1000
	G2	450 × 1000
	G3	500 × 1000
	G4	500 × 1000
3	G2	450 × 900
	G4	450 × 900

誤（当初公告）

課長	係長	検算	設計

工事名	脱水機棟耐震補強その他工事		
図名	脱水機棟 補強範囲軸組図(1)		
縮尺	S=1/100	図番	S-9
設計		製図	
年月	令和 7年 6月		
会津若松地方広域市町村圏整備組合			

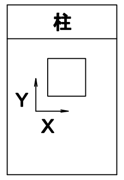
脱水機棟 補強範囲軸組図(2)



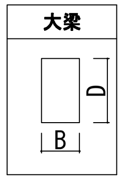
4通軸組図　S=1/100

注）特記なき限り
1. ( )内は、既設壁符号を示す。
2. ▼ 印は、耐震スリットを示す。

柱 凡例



大梁 凡例



既設柱リスト

階	符号	Dx × Dy
1	C4	800 × 800
2	C4	800 × 800
3	C4	800 × 800

既設大梁リスト

階	符号	B × D
1	G9	500 × 1300
2	G9	500 × 1000
3	G9	450 × 900

誤（当初公告）

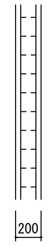
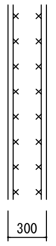
課長	係長	検算	設計

工事名	脱水機棟耐震補強その他工事		
図名	脱水機棟 補強範囲軸組図(2)		
縮尺	S=1/100	図番	S-10
設計		製図	
年月	令和 7年 6月		
会津若松地方広域市町村圏整備組合			

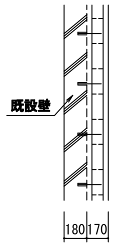
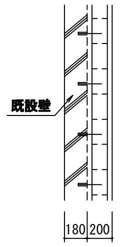
脱水機棟 補強部材リスト

特記事項
1. 既設鉄筋位置については現場にて確認のこと。
2. 鉄筋コンクリートの設計基準強度は21N/mm2 とする。
3. 鉄筋は、SD295（D16以下）、SD345（D19以上）とする。
4. 無収縮モルタルの設計基準強度は30N/mm2 とする。
5. 幅止筋を1m2当り、1本（D10）入れること。

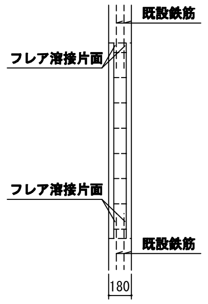
補強部材リスト（壁新設）　S=1/30

符　号		HNW20	HNW30
断　面		 200	 300
縦　　筋		D10 @ 150(ダブル)	D13 @ 200(ダブル)
横　　筋		D10 @ 150(ダブル)	D13 @ 200(ダブル)
開口補強筋	縦	2 — D19	2 — D19
	横	2 — D19	2 — D19
	斜め	2 — D13	2 — D13
接着系アンカー		D22@175(シングル)ナット付	D22@200(ダブル)ナット付
割裂防止筋		はしご筋 面内方向筋：4-D13 面外方向筋：2-D13@100	はしご筋 面内方向筋：4-D13 面外方向筋：2-D13@100
備　考		開口補強筋はシングル配筋とする	開口補強筋はシングル配筋とする

補強部材リスト（壁増打）　S=1/30

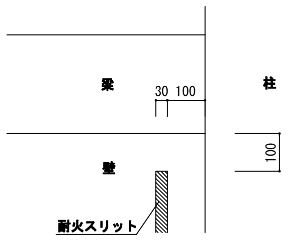
符　号		HMW35 (増打TW17)	HMW38 (増打TW20)
断　面		 既設壁 180 170	 既設壁 180 200
縦　　筋		D10 @ 200(ダブル)	D10 @ 200(ダブル)
横　　筋		D10 @ 200(ダブル)	D10 @ 200(ダブル)
開口補強筋	縦	3 — D22	—
	横	3 — D22	—
	斜め	3 — D22	—
接着系アンカー		D22@175(シングル)ナット付	D22@175(シングル)ナット付
割裂防止筋		スパイラル筋 φ6-径 100 @50	スパイラル筋 φ6-径 100 @50
シアコネクター		D10-400×400	D10-400×400
備　考		開口補強筋はシングル配筋とする	—

補強部材リスト（開口閉塞）　S=1/30

符号（既設）		HMW35 (既設W18)
断　面		 既設鉄筋 フレア溶接片面 フレア溶接片面 既設鉄筋 180
既設壁	縦　　筋	D10 @ 200(ダブル)
	横　　筋	D10 @ 200(ダブル)
開口閉塞	縦　　筋	同　上
	横　　筋	同　上
	接着系アンカー	D16@200(シングル)ナット付
	割裂防止筋	スパイラル筋 φ6-径 100 @50
備　考		接合部接着系アンカー、割裂防止筋は 柱・梁との取り合い部のみ使用

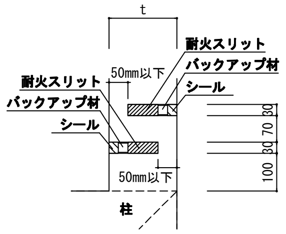
鉄筋の定着の長さ

鉄筋の 種　類	コンクリートの 設計基準強度 Fc（N/mm2）	フックなし		フックあり	
		L_1	L_2	L_{1h}	L_{2h}
SD295	21	40d	35d	30d	25d
SD345		45d	35d	30d	25d



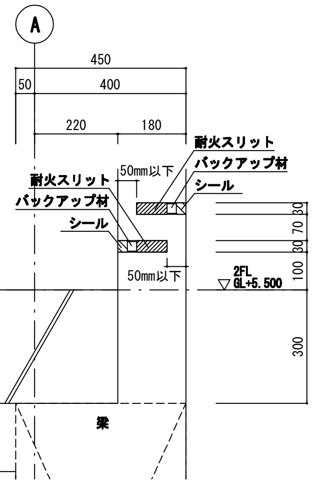
柱と梁の交差部

誤



部分スリット（鉛直）

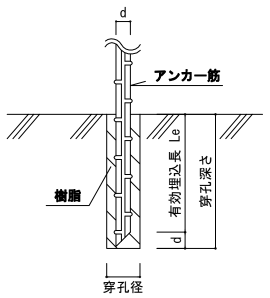
誤



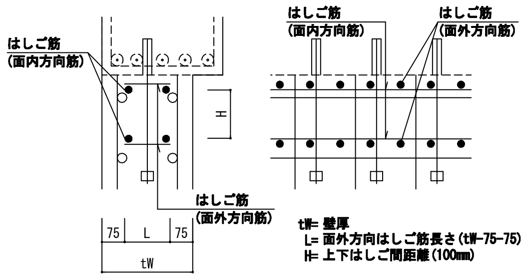
部分スリット（水平）

耐震スリット施工要領図

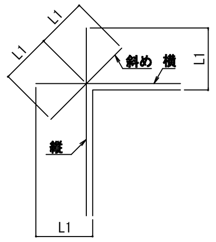
注）1. スリット設置位置は、既設躯体から100mm離隔距離を確保すること。
2. 既設鉄筋は、切断すること。



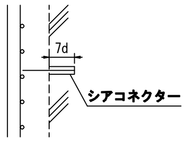
接着系アンカー 施工要領図



はしご筋による割裂補強要領

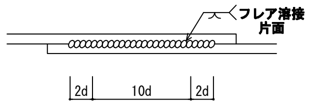


開口補強筋定着要領図



シアコネクター要領図

注）1. アンカーは接着系とする。
2. アンカー鉄筋の長さは増打厚さの半分以上とする。



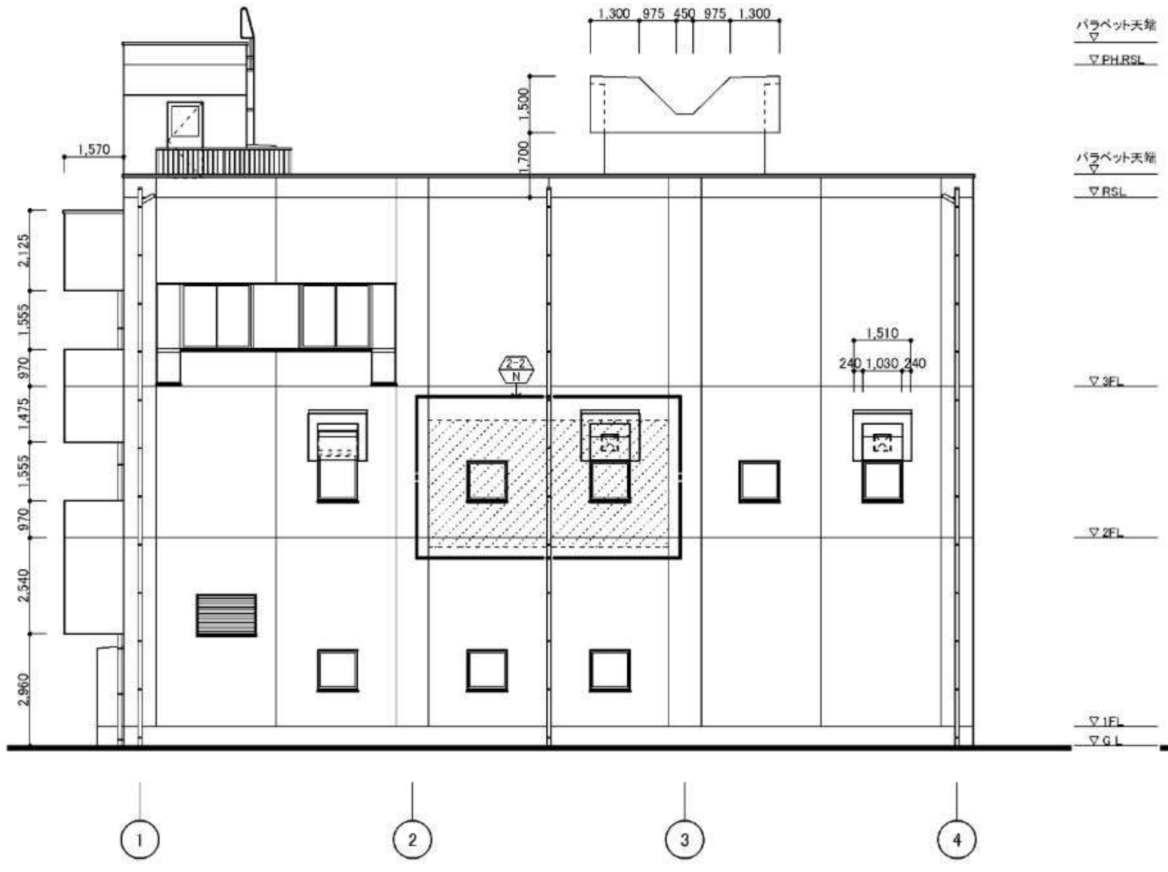
フレア溶接要領図

課長	係長	検算	設計

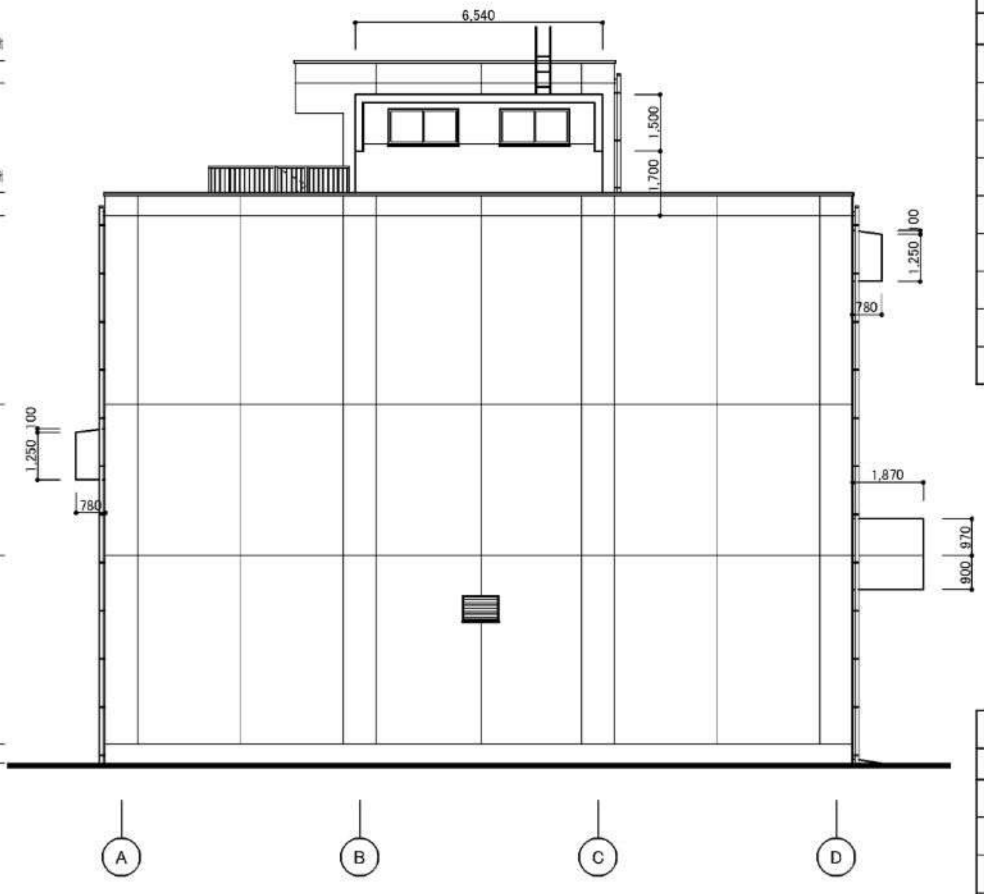
工事名	脱水機棟耐震補強その他工事		
図　名	脱水機棟 補強部材リスト		
縮　尺	図示	図　番	S-11
設　計		製　図	
年　月	令和 7年 6月		
会津若松地方広域市町村圏整備組合			

誤（当初公告）

【 改修前 】

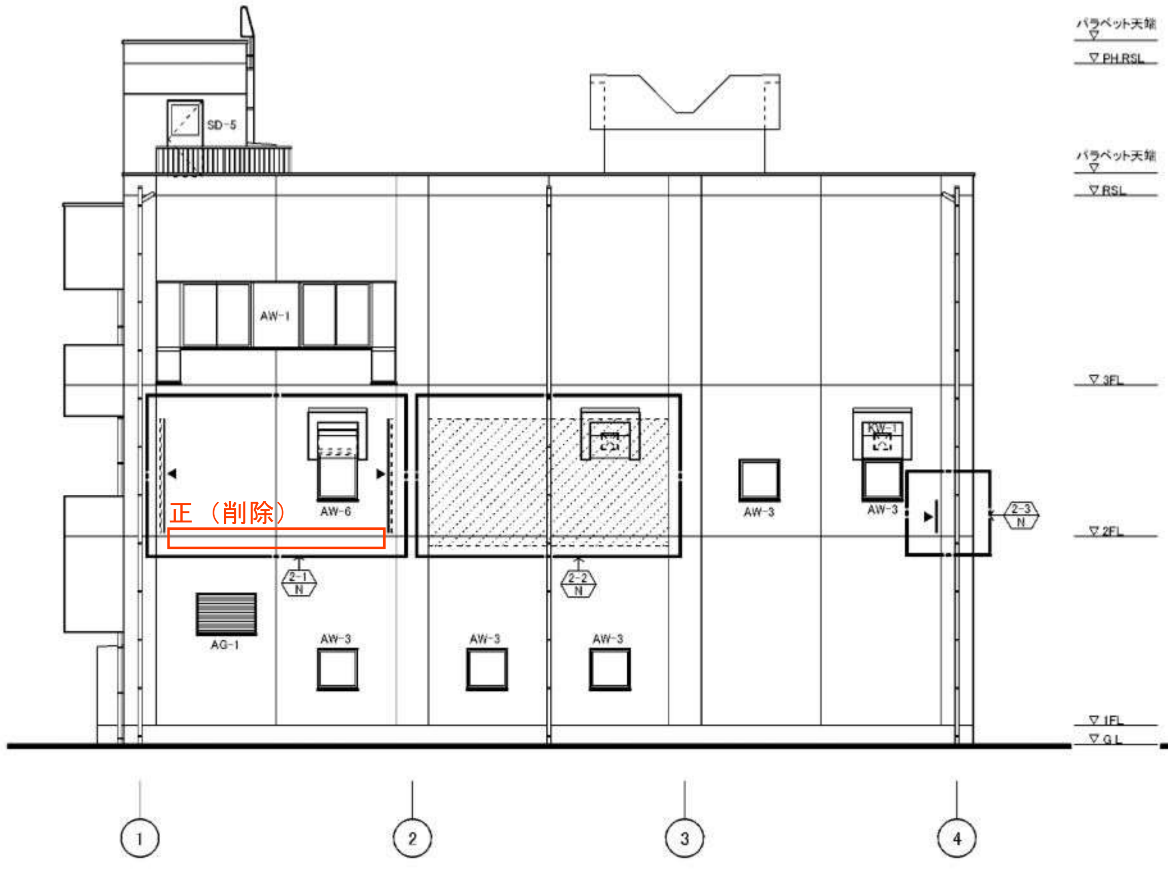


北側　立面図(改修前)　S=1/100

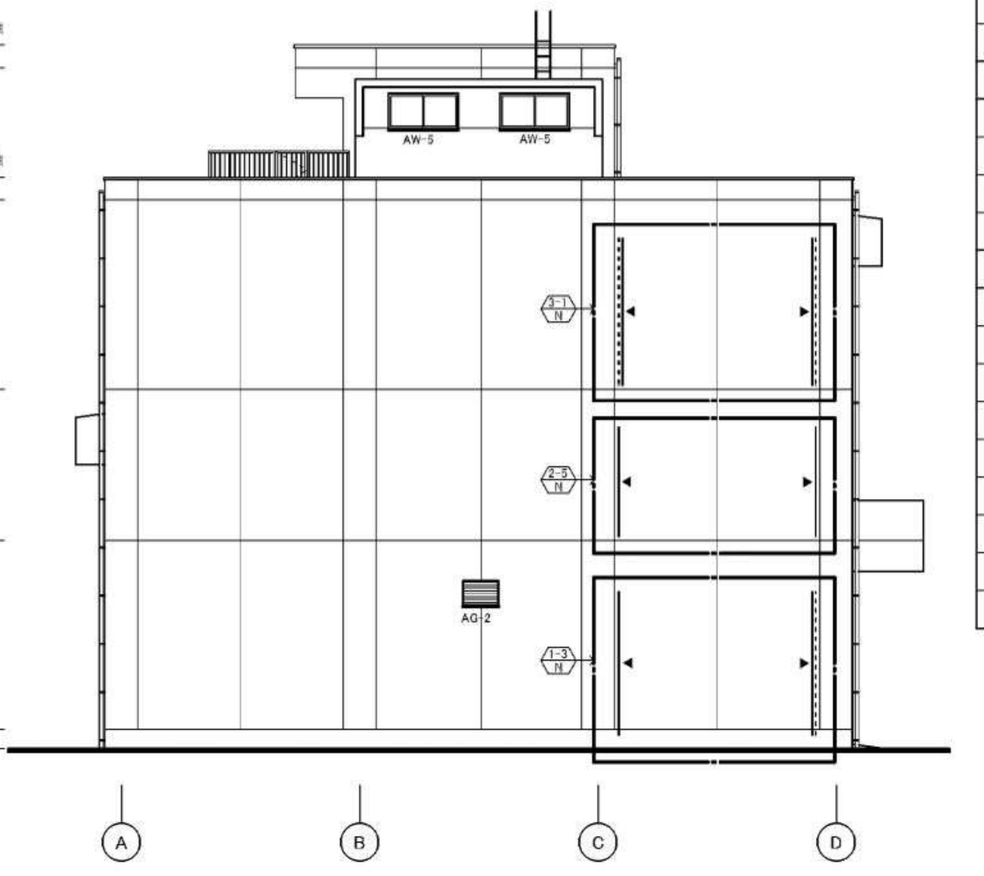


西側　立面図(改修前)　S=1/100

【 改修後 】



北側　立面図(改修後)　S=1/100



西側　立面図(改修後)　S=1/100

■ 改修リスト(改修前)

記号	改修内容	備考
1-3 O	-	
2-1 O	-	
2-2 O	耐震壁新設・開口閉塞に伴う外壁の撤去及び床無筋Cの一部撤去	アルミサッシの撤去含む
2-3 O	-	
2-5 O	-	
3-1 O	-	

【凡例】

（破線枠）：改修工事箇所を示す。

0-0 / O：階数を示す。改修部位番号を示す。O：改修前、N：改修後を示す。

■ 改修リスト(改修後)

記号	改修内容	備考
1-3 N	構造スリットの新設(図中▼印)	
2-1 N	構造スリットの新設(図中▼印)	
2-2 N	耐震壁 (t=200) の新設	床無筋Cの一部新設及び外部コンクリートフードの新設含む
2-3 N	構造スリットの新設(図中▼印)	
2-5 N	構造スリットの新設(図中▼印)	
3-1 N	構造スリットの新設(図中▼印)	

■ 外壁改修内容　※外部の仕上材は全て塗替えとする。

1. 既存外壁仕上塗膜の除去(高圧水洗工法)

2. 下地調整材の塗布

3. 外壁仕上塗材の新設(複層塗材RE)

【注記】 打継・化粧目地シーリング・建具周囲のシーリングは撤去・新設とする。
打継・化粧目地シーリング：10x10(PU-2)　建具周囲：10x10(MS-2)

■ 外部既存建具リスト

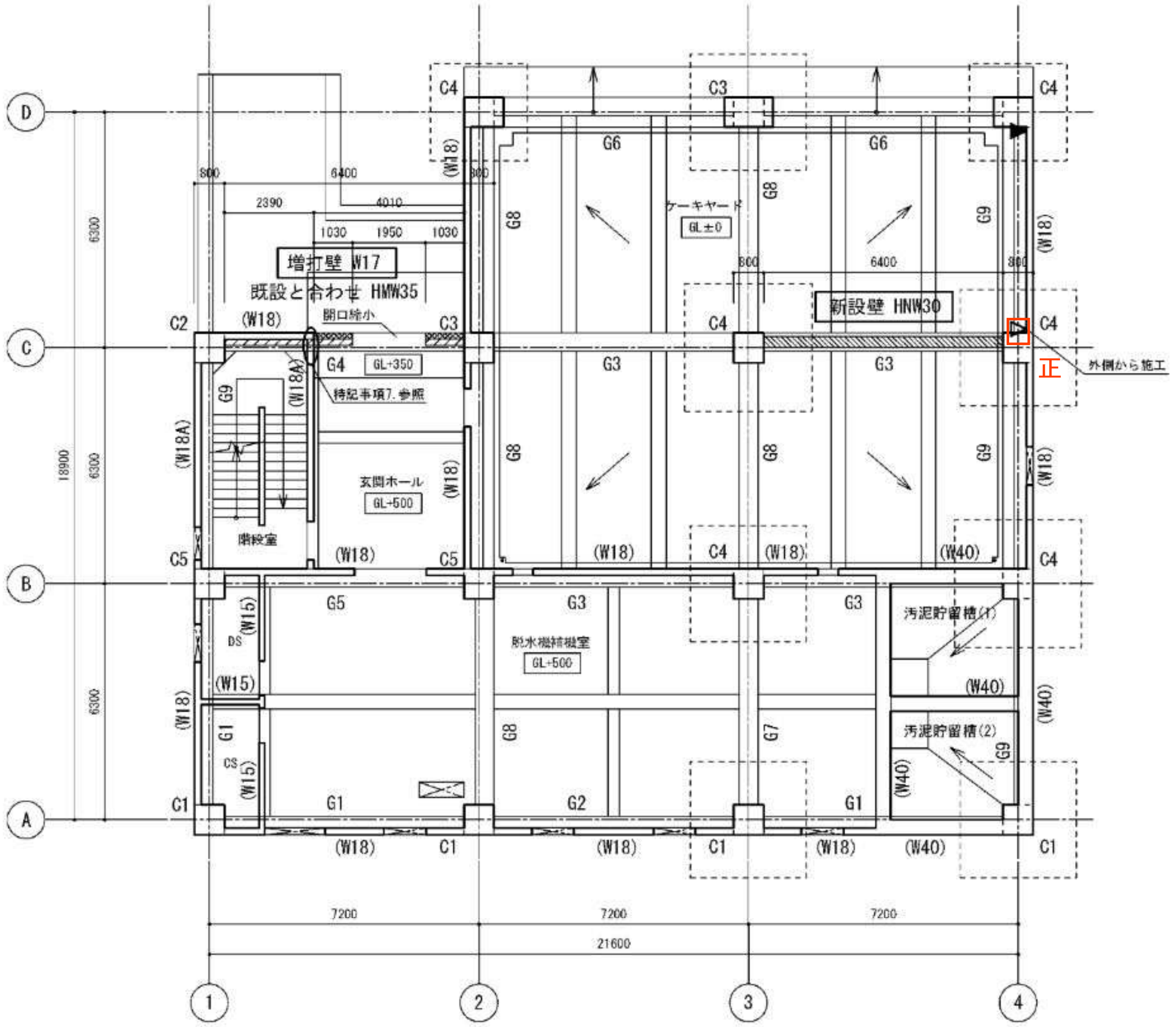
記号	W	x	H	備考
AW-1	6,280	x	2,700	W=600+5,080+600　中央部 H=1,700
AW-3	1,000	x	1,000	
AW-5	1,800	x	900	
AW-6	1,800	x	1,000	
AG-1	1,500	x	1,000	
AG-2	600	x	900	
SD-5	900	x	2,000	
KW-1	400	x	400	換気扇枠：L-50x50x4

課長	係長	検算	設計

工事名	脱水機棟耐震補強その他工事		
図名	立面図－1(改修前・改修後)		
縮尺	S=1/100	図番	A-15
設計		製図	
年月	令和7年6月		
会津若松地方広域市町村圏整備組合			

正（訂正公告）

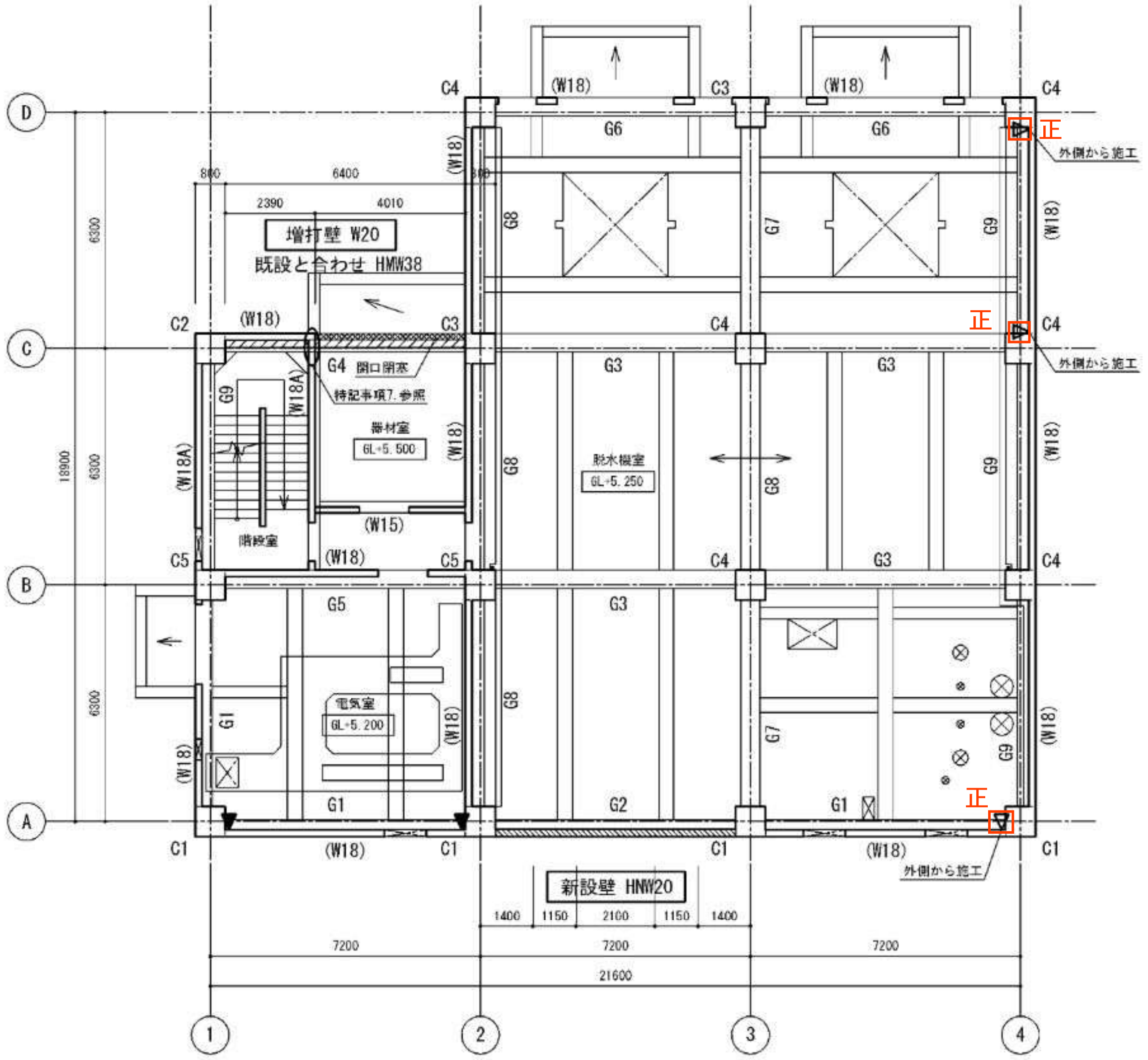
脱水機棟 補強範囲伏図(1)



1階伏図 S=1/100

注) 特記なき限り

1. レベルは、SL(既設)を示す。
2. ( )内は、既設壁符号を示す。
3. ▼ 印は、耐震スリット(タイプ1)を示す。
4. ▽ 印は、耐震スリット(タイプ2)を示す。（正）
5. は、壁新設範囲を示す。
6. は、壁増打補強範囲を示す。
7. は、開口閉塞範囲を示す。
8. は、補強壁面に直交する壁躯体撤去・復旧位置を示す。既設鉄筋を残してコンクリートのみを撤去・復旧すること。

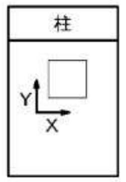


2階伏図 S=1/100

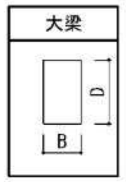
注) 特記なき限り

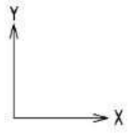
1. レベルは、SL(既設)を示す。
2. ( )内は、既設壁符号を示す。
3. ▼ 印は、耐震スリット(タイプ1)を示す。
4. ▽ 印は、耐震スリット(タイプ2)を示す。（正）
5. は、壁新設範囲を示す。
6. は、壁増打補強範囲を示す。
7. は、開口閉塞範囲を示す。
8. は、補強壁面に直交する壁躯体撤去・復旧位置を示す。既設鉄筋を残してコンクリートのみを撤去・復旧すること。

柱 凡例



大梁 凡例





既設柱リスト

階	符号	Dx × Dy
1	C2	800 × 800
	C3	800 × 800
	C4	800 × 800
2	C1	800 × 800
	C2	800 × 800
	C3	800 × 800
	C4	800 × 800

既設大梁リスト

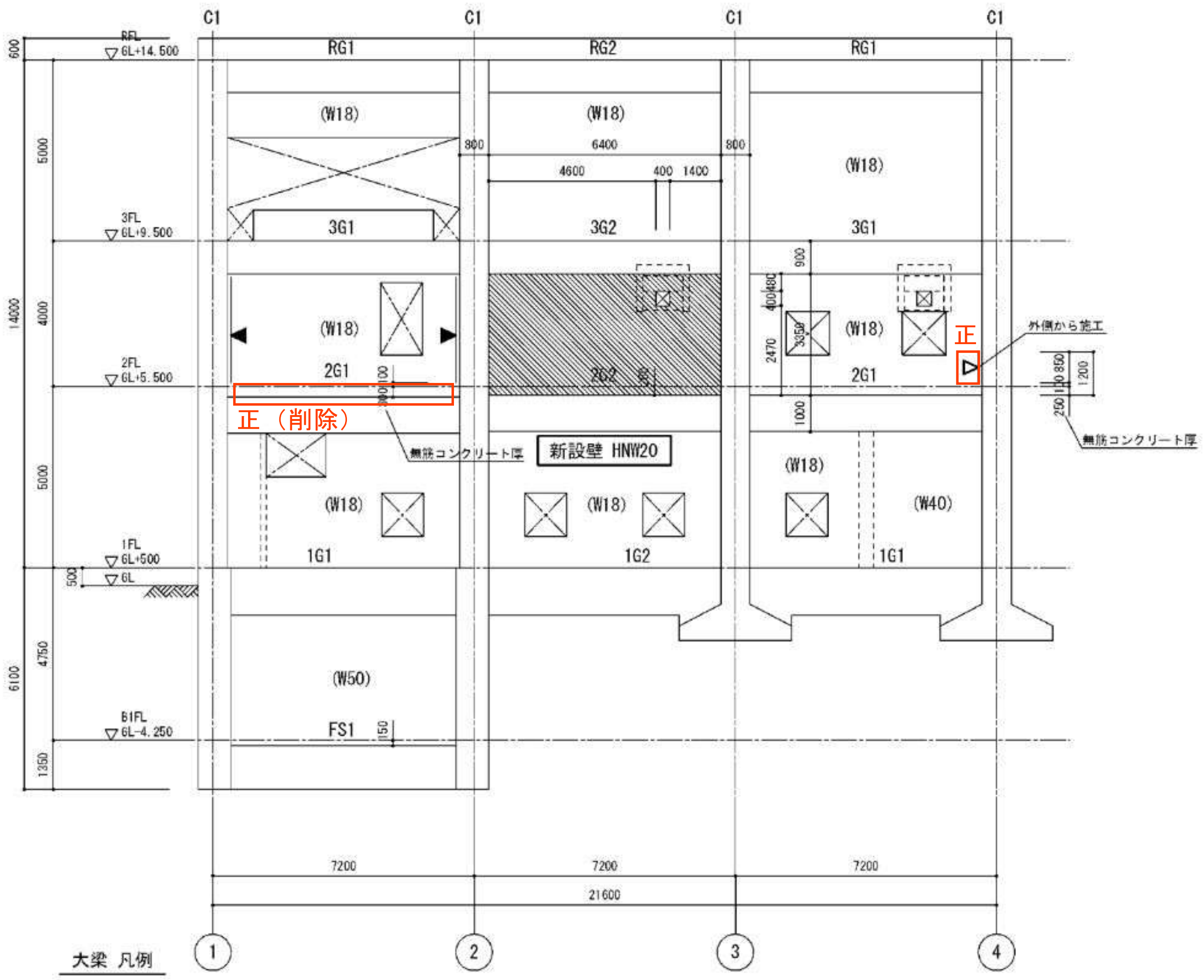
階	符号	B × D
1	G3	500 × 1300
	G4	500 × 1300
2	G2	450 × 1000
	G4	500 × 1000

正（訂正公告）

課長	係長	検算	設計

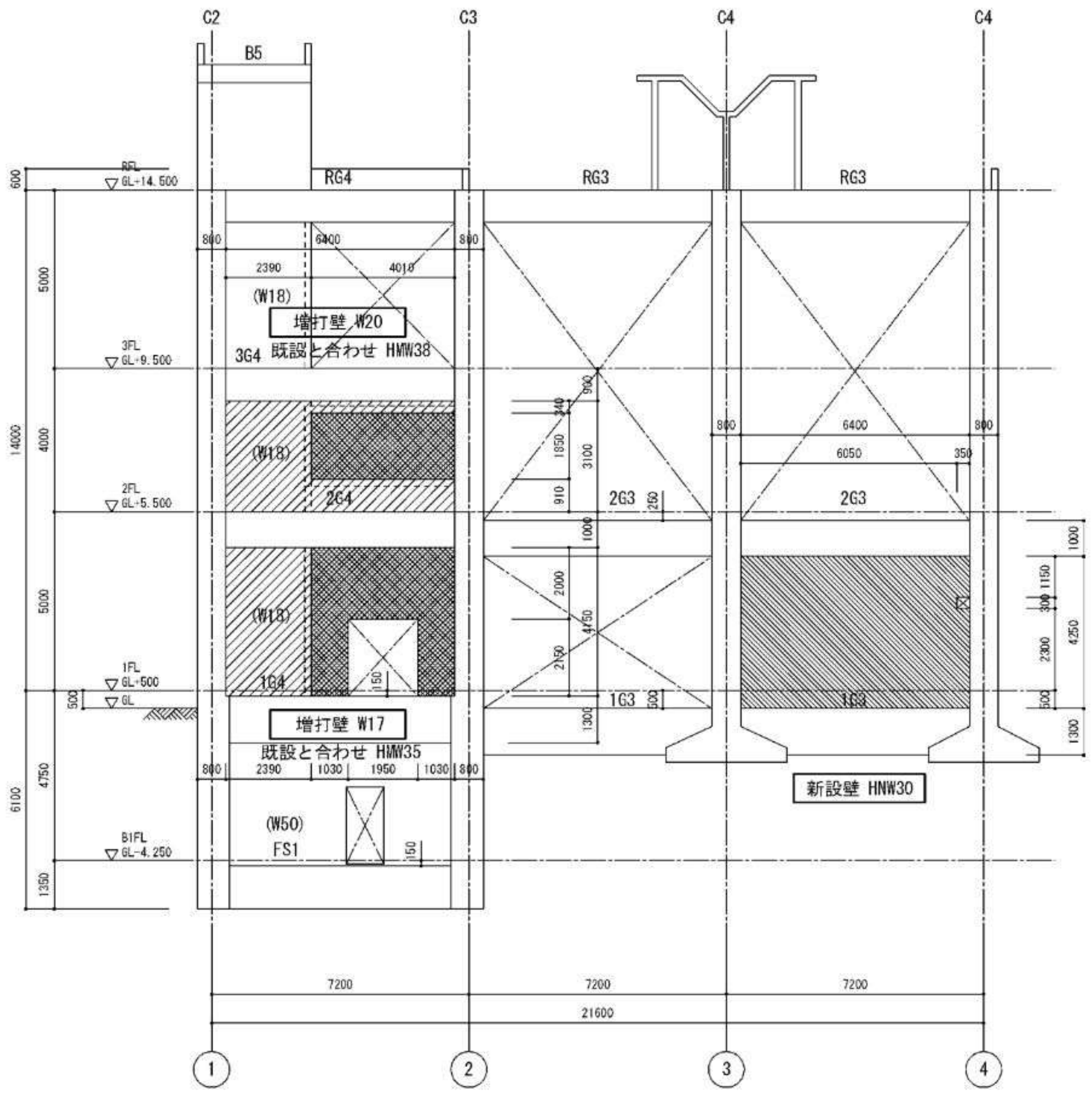
工事名	脱水機棟耐震補強その他工事		
図名	脱水機棟 補強範囲伏図(1)		
縮尺	S=1/100	図番	S-7
設計		製図	
年月	令和7年6月		
会津若松地方広域市町村圏整備組合			

脱水機棟 補強範囲軸組図(1)



A通軸組図 S=1/100

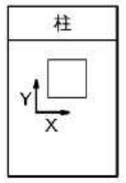
注）特記なき限り
1. ( )内は、既設壁符号を示す。
2. ▼ 印は、耐震スリット(タイプ1)を示す。
正 3. ▽ 印は、耐震スリット(タイプ2)を示す。
4. [斜線] は、壁新設範囲を示す。



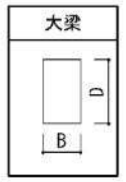
C通軸組図 S=1/100

注）特記なき限り
1. ( )内は、既設壁符号を示す。
2. [斜線] は、壁新設範囲を示す。
3. [斜線] は、壁増打補強範囲を示す。
4. [網掛] は、開口閉塞・壁増打補強範囲を示す。

柱 凡例



大梁 凡例



既設柱リスト

階	符号	Dx × Dy
1	C2	800 × 800
	C3	800 × 800
	C4	800 × 800
2	C1	800 × 800
	C2	800 × 800
	C3	800 × 800

既設大梁リスト

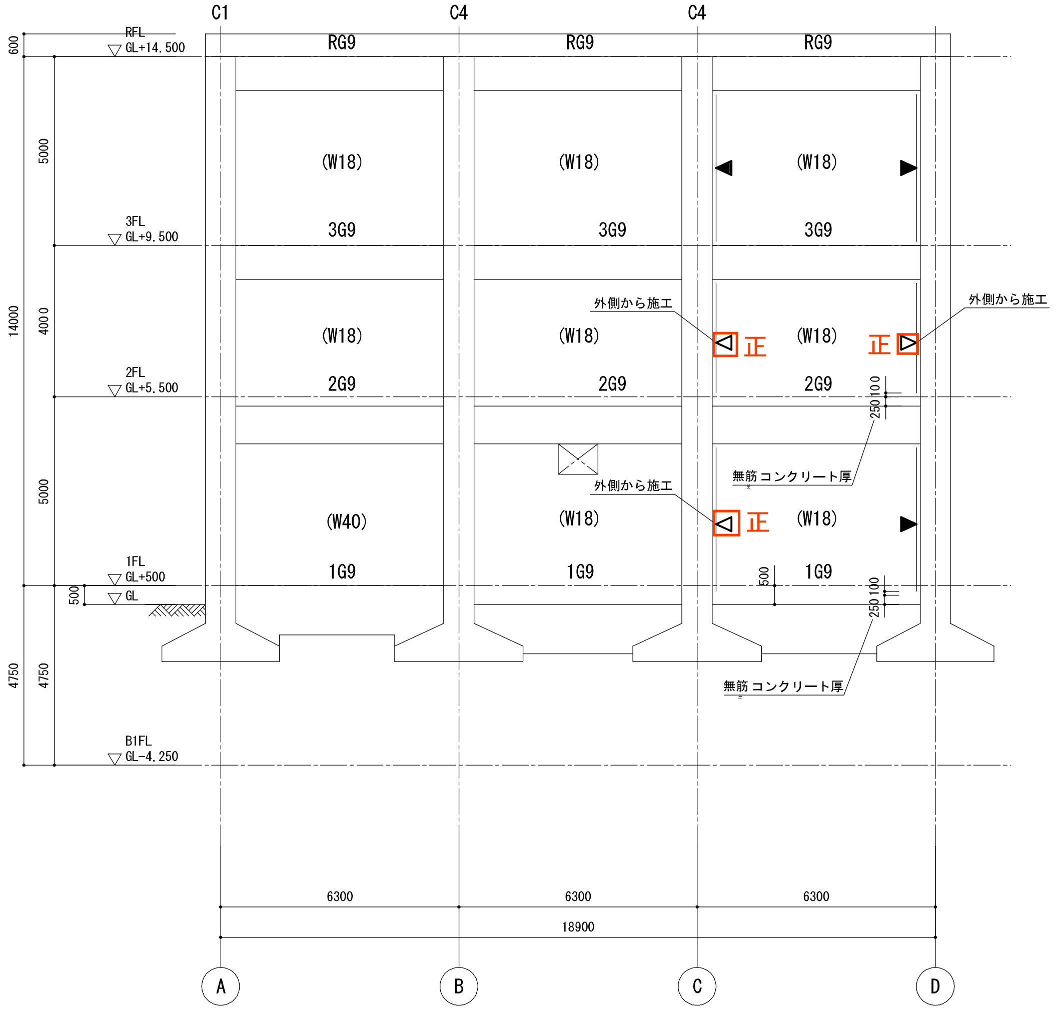
階	符号	B × D
1	G3	500 × 1300
	G4	500 × 1300
2	G1	450 × 1000
	G2	450 × 1000
	G3	500 × 1000
	G4	500 × 1000
3	G2	450 × 900
	G4	450 × 900

正（訂正公告）

課長	係長	検算	設計

工事名	脱水機棟耐震補強その他工事		
図 名	脱水機棟 補強範囲軸組図(1)		
縮 尺	S=1/100	図 番	S-9
設 計		製 図	
年 月	令和7年6月		
会津若松地方広域市町村圏整備組合			

脱水機棟　補強範囲軸組図(2)



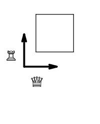
4通軸組図　　S=1/100

注）特記なき限り

1. ( )内は、既設壁符号を示す。
2. ▼ 印は、耐震スリット(タイプ1)を示す。
3. ▽ 印は、耐震スリット(タイプ2)を示す。（正）
4. 2階C-D間については、点検架台ブラケットを避け、スリットを柱際から200mm程度とする。

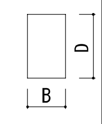
柱 凡例

柱



大梁 凡例

大梁



既設柱リスト

階	号	Dx × Dy
1	C4	800 × 800
2	C4	800 × 800
3	C4	800 × 800

既設大梁リスト

階	号	B × D
1	G9	500 × 1300
2	G9	500 × 1000
3	G9	450 × 900

正（訂正公告）

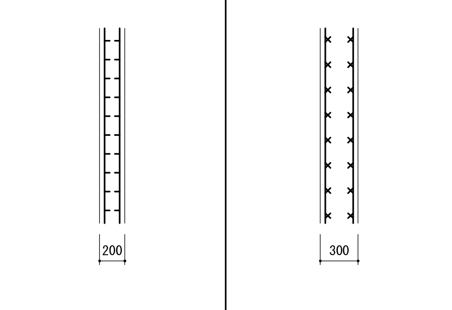
課　長	係　長	検　算	設　計

工事名	脱水機棟耐震補強その他工事		
図　名	脱水機棟　補強範囲軸組図(2)		
縮　尺	S＝1/100	図　番	S-10
設　計		製　図	
年　月	令和7年6月		
会津若松地方広域市町村圏整備組合			

脱水機棟　補強部材リスト

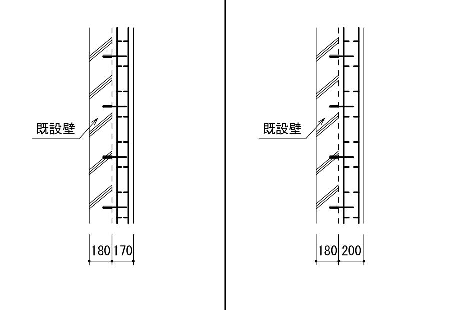
特記事項
1. 既設鉄筋位置については現場にて確認のこと。
2. 鉄筋コンクリートの設計基準強度は21N/mm2とする。
3. 鉄筋は、SD295(D16以下)、SD345(D19以上)とする。
4. 無収縮モルタルの設計基準強度は30N/mm2とする。
5. 幅止筋を1m2当り、1本(D10)入れること。

補強部材リスト(壁新設)　S=1/30



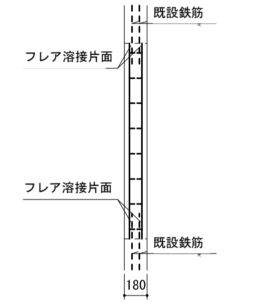
符　号		HNW20	HNW30
断　面			
縦　筋		D10 @ 150(ダブル)	D13 @ 200(ダブル)
横　筋		D10 @ 150(ダブル)	D13 @ 200(ダブル)
開口補強筋	縦	2 ― D19	2 ― D19
	横	2 ― D19	2 ― D19
	斜め	2 ― D13	2 ― D13
接着系アンカー		D22@175(シングル)ナット付	D22@200(ダブル)ナット付
割裂防止筋		はしご筋 面内方向筋：4-D13 面外方向筋：2-D13@100	はしご筋 面内方向筋：4-D13 面外方向筋：2-D13@100
備　考		開口補強筋はシングル配筋とする	開口補強筋はシングル配筋とする

補強部材リスト(壁増打)　S=1/30



符　号		HMW35 (増打TW17)	HMW38 (増打TW20)
断　面			
縦　筋		D10 @ 200(ダブル)	D10 @ 200(ダブル)
横　筋		D10 @ 200(ダブル)	D10 @ 200(ダブル)
開口補強筋	縦	3 ― D22	―
	横	3 ― D22	―
	斜め	3 ― D22	―
接着系アンカー		D22@175(シングル)ナット付	D22@175(シングル)ナット付
割裂防止筋		スパイラル筋 φ6-径 100 @50	スパイラル筋 φ6-径 100 @50
シアコネクター		D10-400×400	D10-400×400
備　考		開口補強筋はシングル配筋とする	―

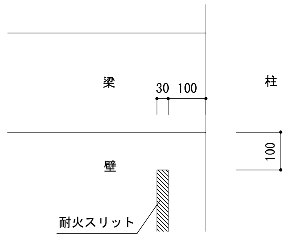
補強部材リスト(開口閉塞)　S=1/30



符号(既設)		HMW35 (既設W18)
断　面		
既設壁	縦　筋	D10 @ 200(ダブル)
	横　筋	D10 @ 200(ダブル)
開口閉塞	縦　筋	同　上
	横　筋	同　上
	接着系アンカー	D16@200(シングル)ナット付
	割裂防止筋	スパイラル筋 φ6-径 100 @50
備　考		接合部接着系アンカー、割裂防止筋は 柱・梁との取り合い部のみ使用

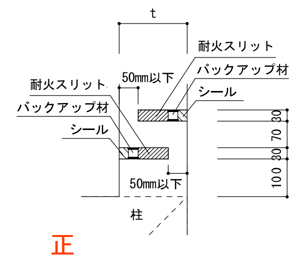
鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 FC(N/mm2)	フックなし		フックあり	
		L_1	L_2	L_{1h}	L_{2h}
SD295	21	40d	35d	30d	25d
SD345		45d	35d	30d	25d



柱と梁の交差部

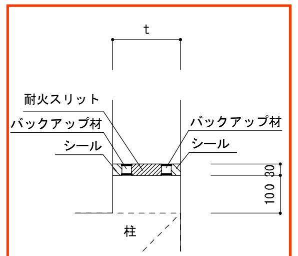
正



正

スリット(鉛直)
タイプ1

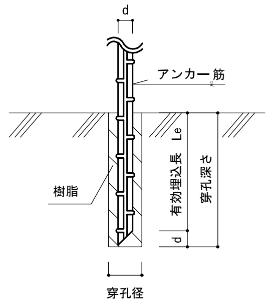
正



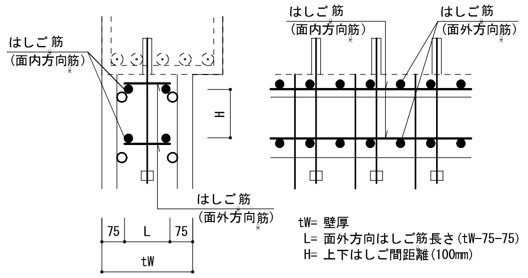
スリット(鉛直)
タイプ2

耐震スリット施工要領図

注) 1. スリット設置位置は、既設躯体から100mm離隔距離を確保すること。
2. 既設鉄筋は、切断すること。
正 3. タイプ2は外側から施工すること。

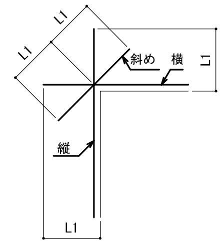


接着系アンカー 施工要領図

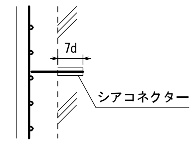


tW= 壁厚
L= 面外方向はしご筋長さ(tW-75-75)
H= 上下はしご筋間距離(100mm)

はしご筋による割裂補強要領

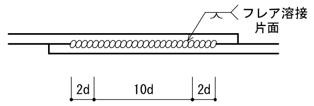


開口補強筋定着要領図



シアコネクター 要領図

注) 1. アンカーは接着系とする。
2. アンカー鉄筋の長さは増打厚さの半分以上とする。



フレア溶接要領図

正 (訂正公告)

課長	係長	検算	設計

工事名	脱水機棟耐震補強その他工事		
図　名	脱水機棟　補強部材リスト		
縮　尺	図示	図　番	S-11
設　計		製　図	
年　月	令和7年6月		
会津若松地方広域市町村圏整備組合			

脱水機棟耐震補強その他工事数量調書　　誤（当初公告）

単位	m²								m	m	m					m	m	m
階数	外部		軒裏	外壁	2F外壁	既存外壁	新設外壁	打継目地	化粧目地	新設壁廻り	ﾌｰﾄﾞ天端	ﾌｰﾄﾞ天端	軒天	軒天	耐震ｽﾘｯﾄ	耐震ｽﾘｯﾄ	外壁見切り部
室名	北側外壁		打放C面	打放B面	増しｺﾝｸﾘｰﾄ	複層塗材RE	複層塗材RE	PU-2	PU-2	ｼｰﾘﾝｸﾞ	複層塗材RE	複層塗材RE	AE塗替	AE塗装	鉛直	水平	ｼｰﾘﾝｸﾞ
					t=30	打放面	打放B面	10x10	10x10	PU-2	ﾄｯﾌﾟｺｰﾄのみ	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ	既存打放面	打放C面	30x130	30x130	MS-2
備考										25x15	既存RC面				ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材	10x10
						下地調整							下地調整		シール	シール	
CH			打放軒裏	打放型枠2	増ｺﾝ1	S1	S2	打継目地	化粧目地	B2	S6	S7	塗装10	塗装11	耐震ｽﾘｯﾄ1	耐震ｽﾘｯﾄ2	外壁シール
	計		0.55	27.89	27.89	308.27	27.89	93.09	129.70	19.50	2.78	1.39	1.09	0.55	6.65	6.20	9.06
北側外壁	(18.60-0.50)*22.46-3.50*19.21					339.29											
打継目地	22.46*5-19.21							93.09									
化粧目地	14.60*9								131.40								
新設壁	3.35*6.40			21.44	21.44	△ 21.44	21.44										
〃廻り	(3.35+6.40)*2									19.50							
AW-3	1.00*1.00*5					△ 5.00											
AG-1	1.00*1.50					△ 1.50											
AW-6	1.00*1.80					△ 1.80											
AW-1	2.70*6.28-1.00*5.08					△ 11.88											
〃目地	1.70*1								△ 1.70								
Cﾌｰﾄﾞ外側	(1.25*0.77*2-0.35*0.99)*2					3.16											
〃天端	(0.78+0.10+0.04)*1.51*2										2.78						
〃ｼｰﾙ	1.51*2*2																6.04
〃底	0.24*(0.77*2+1.03)*2					1.23											
〃内側	(1.08*(0.77+1.03)*2-(0.98*1.03+0.70*0.40))*2					5.20											
〃	0.23*(0.40+0.70)*2*2					1.01											
〃軒裏	0.53*1.03*2												1.09				
Cﾌｰﾄﾞ外側	1.25*0.77*2-0.35*0.99			1.58	1.58		1.58										
〃天端	(0.78+0.10+0.04)*1.51											1.39					
〃ｼｰﾙ	1.51*2																3.02
〃底+開口	0.24*(0.77*2+1.03)+(0.24*1.03)*2			1.11	1.11		1.11										
〃内側	1.08*(0.77+1.03)*2-(0.35*1.03+0.70*0.40)			3.25	3.25		3.25										
〃	0.23*(0.40+0.70)*2			0.51	0.51		0.51										
〃軒裏	0.53*1.03		0.55											0.55			
耐震ｽﾘｯﾄ	2.90*2+0.85														6.65		
〃	6.20*1															6.20 誤	

脱水機棟耐震補強その他工事数量調書　　誤（当初公告）

単位	㎡	m3			か所	m	
階数	内部	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	床	壁	通水管	耐震ｽﾘｯﾄ	
室名	1F ｹｰｷﾔｰﾄﾞ		ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ	打放B面	VP100	鉛直	
			直均し		半割	30x130	
備考					L＝300	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材	
						シール	
CH	3,750	無筋1	S4	打放型枠1	通水管1	耐震ｽﾘｯﾄ1	
計		0.28	1.25	53.97	1.00	7.60	
床	0.10*(0.20+0.25)/2*(6.40-0.15)*2	0.28					
〃	0.10*(6.40-0.15)*2		1.25				
通水管	1*1				1.00		
新設壁	(3.75+0.50)*6.40*2-((0.25+0.20)/2*(6.40*0.15))*2			53.97			
耐震ｽﾘｯﾄ	3.80*2					7.60	誤

改修調書－9

脱水機棟耐震補強その他工事数量調書　　誤（当初公告）

単位	m²		m3				m		か所	m	
階数	内部		無筋コンクリート	床	床	床	巾木	壁	換気扇枠	耐震スリット	
室名	2-3F 脱水機室			コンクリート金コテ	合成樹脂塗床	合成樹脂塗床	合成樹脂塗床	打放B面	DP塗装	鉛直	
				直均し	C直均し面	既存C面	C面		L-50x50x4	30x130	
備考							H=100		400x400	バックアップ材	
						下地調整			アンカーボルトD10	シール	
CH	2,740		無筋1	S4	N3	N4	N5	打放型枠1	換気扇1	耐震スリット1	
	計		0.18	0.83	0.83	0.64	6.60	21.44	1.00	14.45	
無筋コンクリート	0.13*(0.25+0.20)/2*(6.40-0.15)		0.18								
床	0.13*6.40			0.83	0.83						
〃既存床	0.10*6.40					0.64					
巾木	6.40+0.10*2						6.60				
新設壁	3.35*6.40							21.44			
換気扇	1*1								1.00		
2F 耐震スリット	2.90*2+0.85									6.65	誤
3F 耐震スリット	3.90*2									7.80	

改修調書－12

脱水機棟耐震補強その他工事数量調書　　誤（当初公告）

単位	m²		m	m	
階数	内部		耐震スリット	耐震スリット	
室名	2F　電気室		鉛直	水平	
			30x130	30x130	
備考			ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材	
			シール	シール	
CH			耐震スリット1	耐震スリット2	
	計		5.80	6.20	
耐震スリット	2.90*2		5.80		
〃	6.20*1			6.20	誤

脱水機棟耐震補強その他工事数量調書　　正（訂正公告）

単位	㎡							m	m	m					m	m	m		
階数	外部		軒裏	外壁	2F外壁	既存外壁	新設外壁	打継目地	化粧目地	新設壁廻り	ﾌｰﾄﾞ天端	ﾌｰﾄﾞ天端	軒天	軒天	耐震ｽﾘｯﾄ	耐震ｽﾘｯﾄ	外壁見切り部		
室名	北側外壁		打放C面	打放B面	増しｺﾝｸﾘｰﾄ	複層塗材RE	複層塗材RE	PU-2	PU-2	ｼｰﾘﾝｸﾞ	複層塗材RE	複層塗材RE	AE塗替	AE塗装	鉛直	水平	ｼｰﾘﾝｸﾞ		
					t=30	打放面	打放B面	10x10	10x10	PU-2	ﾄｯﾌﾟｺｰﾄのみ	防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ	既存打放面	打放C面	30x130	30x130	MS-2		
備考										25x15	既存RC面				ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材	10x10		
						下地調整							下地調整		ｼｰﾙ	ｼｰﾙ			
CH			打放軒裏	打放型枠2	増ｺﾝ1	S1	S2	打継目地	化粧目地	B2	S6	S7	塗装10	塗装11	耐震ｽﾘｯﾄ1	耐震ｽﾘｯﾄ2	外壁ｼｰﾙ		
	計		0.55	27.89	27.89	308.27	27.89	93.09	129.70	19.50	2.78	1.39	1.09	0.55	6.65	0	9.06		
北側外壁	(18.60−0.50)*22.46−3.50*19.21					339.29													
打継目地	22.46*5−19.21							93.09											
化粧目地	14.60*9								131.40										
新設壁	3.35*6.40			21.44	21.44	△ 21.44	21.44												
〃 廻り	(3.35+6.40)*2									19.50									
AW-3	1.00*1.00*5					△ 5.00													
AG-1	1.00*1.50					△ 1.50													
AW-6	1.00*1.80					△ 1.80													
AW-1	2.70*6.28−1.00*5.08					△ 11.88													
〃 目地	1.70*1								△ 1.70										
Cﾌｰﾄﾞ外側	(1.25*0.77*2−0.35*0.99)*2					3.16													
〃 天端	(0.78+0.10+0.04)*1.51*2										2.78								
〃 ｼｰﾙ	1.51*2*2																6.04		
〃 底	0.24*(0.77*2+1.03)*2					1.23													
〃 内側	(1.08*(0.77+1.03)*2−(0.98*1.03+0.70*0.40))*2					5.20													
〃	0.23*(0.40+0.70)*2*2					1.01													
〃 軒裏	0.53*1.03*2												1.09						
Cﾌｰﾄﾞ外側	1.25*0.77*2−0.35*0.99			1.58	1.58		1.58												
〃 天端	(0.78+0.10+0.04)*1.51											1.39							
〃 ｼｰﾙ	1.51*2																3.02		
〃 底+開口	0.24*(0.77*2+1.03)+(0.24*1.03)*2			1.11	1.11		1.11												
〃 内側	1.08*(0.77+1.03)*2−(0.35*1.03+0.70*0.40)			3.25	3.25		3.25												
〃	0.23*(0.40+0.70)*2			0.51	0.51		0.51												
〃 軒裏	0.53*1.03		0.55											0.55					
耐震ｽﾘｯﾄ	2.90*2+0.85														6.65				
〃	6.20*0															0	正		
																		改修調書－7	

脱水機棟耐震補強その他工事数量調書　　正（訂正公告）

単位	㎡	m3			か所	m	
階数	内部	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	床	壁	通水管	耐震ｽﾘｯﾄ	
室名	1F　ｹｰｷﾔｰﾄﾞ		ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ	打放B面	VP100	鉛直	
			直均し		半割	30x130	
備考					L＝300	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材	
						シール	
CH	3,750	無筋1	S4	打放型枠1	通水管1	耐震ｽﾘｯﾄ1	
	計	0.28	1.25	53.97	1.00	3.80	
床	0.10*(0.20+0.25)/2*(6.40-0.15)*2	0.28					
〃	0.10*(6.40-0.15)*2		1.25				
通水管	1*1				1.00		
新設壁	(3.75+0.50)*6.40*2-((0.25+0.20)/2*(6.40*0.15))*2			53.97			
耐震ｽﾘｯﾄ	3.80*1					3.80	正

脱水機棟耐震補強その他工事数量調書　　**正（訂正公告）**

単位	㎡		m3				m		か所	m
階数	内部		無筋コンクリート	床	床	床	巾木	壁	換気扇枠	耐震スリット
室名	2-3F　脱水機室			コンクリート金コテ	合成樹脂塗床	合成樹脂塗床	合成樹脂塗床	打放B面	DP塗装	鉛直
				直均し	C直均し面	既存C面	C面		L-50x50x4	30x130
備考							H=100		400x400	バックアップ材
						下地調整			アンカーボルトD10	シール
CH	2,740		無筋1	S4	N3	N4	N5	打放型枠1	換気扇1	耐震スリット1
	計		0.18	0.83	0.83	0.64	6.60	21.44	1.00	7.80
無筋コンクリート	0.13*(0.25+0.20)/2*(6.40-0.15)		0.18							
床	0.13*6.40			0.83	0.83					
〃既存床	0.10*6.40					0.64				
巾木	6.40+0.10*2						6.60			
新設壁	3.35*6.40							21.44		
換気扇	1*1								1.00	
2F　耐震スリット	2.90*0+0.85*0									0 正
3F　耐震スリット	3.90*2									7.80

脱水機棟耐震補強その他工事数量調書　正（訂正公告）

単位	㎡		m	m
階数	内部		耐震ｽﾘｯﾄ	耐震ｽﾘｯﾄ
室名	2F　電気室		鉛直	水平
			30x130	30x130
備考			ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材
			シール	シール
CH			耐震ｽﾘｯﾄ1	耐震ｽﾘｯﾄ2
	計		5.80	0
耐震ｽﾘｯﾄ	2.90*2		5.80	
〃	6.20*0			0 正

改修調書－13